第636号　2025年4月1日

昭和女子大学
〒154-8533 東京都世田谷区太子堂1-7-57
編集発行人　学校法人 昭和女子大学広報部

昭和學報

SHOWA GAKUHO

INDEX

グローバル	2	キャリア支援	10
学生の活動	4	卒業生訪問	11
CAMPUS GUIDE	5	トピックス	12
行事・講座	9		



社会課題の解決を目指して山形県鶴岡市と行うプロジェクト型学修の学生インタビュー
P4へ

PICK UP

2025年4月
新しい国際学部
多様化する学生のニーズに応え、世界基準の人材育成を目指し、国際学部は国際教養学科、国際日本学科、国際学科の3学科体制に生まれ変わります。

2026年4月
総合情報学部新設（構想中）
社会で求められているデジタル人材を育成し、理工系分野における女性の活躍を実現するため「総合情報学部」を設置します。

詳細は裏表紙をご確認ください。

第1位 実就職率*1 女子大

進路指導教諭が評価する大学（女子大学編）6項目1位*2

- 第1位 教育力が高い大学
- 第1位 グローバル教育に力を入れている大学
- 第1位 改革力が高い大学
- 第1位 入学後、生徒を伸ばしてくれる大学
- 第1位 面倒見が良い大学
- 第1位 就職に力を入れている大学

＊1 2023年度（卒業生1,000人以上）　＊2 2024年　ともに大学通信調べ

進化し続ける昭和女子大学



昭和女子大学 総長
坂東 眞理子

昭和女子大学が目指しているのは自立・自律する力をもった学生の育成です。女性の活躍があらゆる分野で期待されていますが、現実にはまだまだ乗り越えなければならない壁があります。そのために、一人ひとりの学生が「夢を実現する7つの力」を身につけてほしいと願っています。

グローバルに通用する人材になるためには、自国の文化・社会を理解した上で「外国語を使う力」「コミュニケーションをとる力」を鍛える必要があります。ダブル・ディグリー・プログラムは、昭和女子大学の誇りとするプログラムです。州立テンプル大学ジャパンキャンパス（米国・以下TUJ）、上海交通大学（中国）、クイーンズランド大学（豪州）、淑明女子大学校（韓国）など5つの大学との協定により、昭和女子大学で2.5～3年、相手校で2年学ぶことで、2か国2大学の大学卒業資格（学士号）を得ることができます。毎年卒業生が増え、既に100名以上の修了生を輩出しています。世田谷キャンパスにもTUJやブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和（BST）があり、国内にいながらグローバルな環境で学ぶことができます。

キャリア教育では、実就職率が2011年から2022年の12年連続で全国の女子大学1位を記録し、2024年度に再び1位になりました。「問題を発見し目標を設定する力」「一歩踏み出して行動する力」もプロジェクト活動等を通じて養っています。社会人の女性が学生にキャリア設計のアドバイスをするメンター制度もあります。

2022年4月に開講した専門職大学院では、人生やキャリアの様々なステージにある大学院生たちが熱心に学んでいます。

昭和女子大学には、学生たちがそれぞれの長所を伸ばして社会に貢献できるよう、最後まであきらめず「目標を成し遂げる力」「自分を大切にする力」を養う機会がたくさんあります。「教育力が高い大学」「入学後、生徒を伸ばしてくれる大学」としても昭和女子大学は高い評価*1を得ています。これからも、その期待にこたえ、全力をつくしていきます。

＊1 2024年 大学通信調べ

新しい学科への想い



昭和女子大学 学長
金尾 朗

昭和女子大学は、2025年度には国際学部の改変、2026年にはデータサイエンス系の学部の新設を構想しています。いずれも、時代の急激な変化に合わせて、社会に必要な研究・教育環境の創出を心がけています。

まずは本学の引き継がれてきた国際化、グローバルに対しての想いがあります。英語系学科は時代が要請する国際化、グローバル化の流れに沿って改変を続けてきました。文学、コミュニケーション、国際、そして日本などのキーワードでその想いは引き継がれながら発展を続けています。

一方で、本学は女性のための総合大学でもありますが、理系、工学系の学部、学科が少ないことは、工学部出身の私としては忸怩たる想いもありました。女子学生の理系指向が伸びている中、大学として研究・教育環境を整えるべくデータサイエンス系の工学系新学部を構想することになりました。特に変化の激しいデジタル系の分野ですので、今後も持続的にチャレンジを続けていきます。

本格的な工学系の学部は本学では初めてです。いわゆる文理融合を推進していくことになります。数年前から、環境デザイン学部では他大学の工学系学部とMOU（基本合意書）を結ばせていただき活動を続けています。そこでは、工学系の教員の方々や学生の考え方、発想の仕方に接すると新鮮な感覚と刺激、そして気づきももらえます。また、様々なプロセス、考え方の差から、「文化」の違いを感じることができます。このような他分野・文化との交流、様々な価値観との交流の中で、自らの特徴、個性を確認し、確立していくことは、現代の教育・研究において重要だと考えられます。新しい学部、学科の改変や設立は、学内での新たな文化とその共存のチャンスです。お互いが刺激し合い、大学全体が成長していくことが期待できると考えます。

昭和女子大学は、時代に合わせて組織の改変、新設を試み、それに合わせて、既存の学科も含めて共存、成長していくことを目指しています。学生、職員、そして教員の学園全体にわたって、常に、新たな研究・教育環境の模索をしていきます。







昭和女子大学のグローバルな学び

世田谷キャンパスでグローバルに学ぶ

昭和女子大学は1988年に米国マサチューセッツ州ボストンに海外キャンパス「昭和ボストン」を開設するなど、グローバル教育では日本の最前線を走ってきました。海外キャンパス「昭和ボストン」には毎年500名以上の学生が留学しているほか、世界各国の55※の協定大学を中心に250名を超す学生が留学しています。

ただ、昭和女子大学のグローバル教育のユニークさはこれらの留学プログラムだけではありません。実は、昭和女子大学は日本有数の「グローバルキャンパス」でもあるのです。

西門を出たところには米国州立大学の日本キャンパスである「テンプル大学ジャパンキャンパス(以下TUJ)」があり、多くの本学の学生が授業履修や語学研修で学んでいます。TUJとの間に2020年度に開始したダブル・ディグリー・プログラムではすでに16名の学生が修了し、そのほかにも多くの学生が単位互換プログラム等で学んでいます。また、TUJとの共同授業(歴史文化学科の「コミュニティアート」、国際学部の「Cross -border Negotiation Strategies」)も実施しています。

TUJの学生との交流は授業だけではありません。学生主体の様々な交流イベント(夏祭り、クリスマスパーティー等)や、秋桜祭、クラブ活動を通しての交流はもちろんのこと、1対1でお互いの言語を学び合うLEX (Language Exchange)にも多くの学生が参加しています。

加えて、昭和女子大学のグローバルキャンパスは、世界中から200名を超える外国人留学生が学びに来ています。学内では、異文化交流を目的としたイベントや、外国人留学生をサポートするための活動など、多くの日本人学生が世田谷でリアルな異文化体験をしています。皆さんも、ぜひ、グローバルキャンパスを満喫してください。

※2025年2月時点



国際学科
特任教授・学長補佐
柏木 厚子特任教授

昭和女子大学の海外キャンパス「昭和ボストン」とは?

アメリカの東海岸にある学園都市ボストンの郊外に、昭和女子大学の海外キャンパス「昭和ボストン」があります。1988年の開校以来、これまでのべ18,000名以上の学生が学んできました。授業はすべて現地の教員が担当し、少人数クラスの徹底した指導が行われます。

また、ボストン近郊の歴史や文学の名所へのフィールドトリップを行ったり、キャンパス外でボランティア活動に参加するなど、授業だけではなく地域の人々や文化と触れる学習機会がプログラムに盛り込まれているのが特長です。



【全学生対象】 昭和ボストンプログラム

プログラム名	実施時期
セメスタープログラム 留学がカリキュラムに含まれてない学科の学生を対象とした留学プログラム。レベル別の英語学習、教養・専門科目を履修でき、語学力を問わず参加することができます。(国際学部3学科、ビジネスデザイン学科を除く)	**春期・秋期** (約15~19週間)
ボストンサマーセッション レベル別英語クラスに加え、9つのテーマから一つ選択し、英語で学びます。 アメリカ文化、アメリカン・ビジネス、ミュージアム&アート・コレクションズ、心理学、ホスピタリティ、フードマネジメント、アメリカン・メディア、ボランティア、アート&デザイン※ (※環境デザイン学科限定)	**8月~9月** (約4週間)
日本文化プログラム 「外から見る日本」をテーマに、日本文化や歴史を英語で学びます。	**2月~3月** (約2週間)

このほか、学科ごとに行っているプログラムもあります。
アメリカ栄養士研修 (管理栄養学科・健康デザイン学科)、アメリカ初等教育演習 (初等教育学科)
ボストン長期プログラム (国際学部3学科、ビジネスデザイン学科)

留/学/体/験/記/ (昭和ボストン+テンプル大学ジャパンキャンパス)

英語コミュニケーション学科
峯 遥叶

私がこの大学を選んだ理由は2つあります。1つ目はボストンにキャンパスがあることです。私は英語を話すことに自信がなかったため、日本人が身近にいる昭和ボストンは安心して留学を始められる環境であると感じました。2つ目は近くにテンプル大学のジャパンキャンパス(以下TUJ)があることです。昭和女子大学ではTUJとの交流会や授業履修などを行っています。海外に行かなくても様々な国の人と交流ができるという点に惹かれ、英語学習環境が整っているこの大学を選びました。

昭和ボストンではアメリカの社会問題や歴史などについて学びました。特に印象深かったことは食料不安に関するボランティアの授業です。この授業では、実際にスーパーマーケットで食材の陳列やレストランで食事の配布等を行いました。地元の人と直接会話をし、問題解決に向けたボランティア活動に参加出来たことはとても良い経験になりました。ボストンでは課題量がとても多く、慣れない環境での勉強は辛い場面もありましたが、同じクラスの友達と切磋琢磨しあって乗り越えることができました。

ボストン留学後には、1学期間TUJに留学し、その後は学内でSSIP※というプログラムのインターンシップを行いました。この経験から、英語力はもちろん異文化理解力や企画・運営力を身につけることが出来ました。これらの大学での経験を活かして、卒業後は日本を海外に向けて発信する仕事につき、日本の魅力を伝えられるようにしていきたいです。





※SSIP(SWU Summer International Program)
海外協定校からの留学生が日本の伝統文化、現代日本社会を昭和女子大学の学生とともに学び、異文化交流を全て英語で行うプログラム





世界に広がる55の協定校

昭和女子大学には、世界各国に55※の協定校があります。各協定校では集中的な語学プログラムや、教育、ビジネス、地域文化、食など、専門分野に関する授業や実習、現地の学生と交流できるプログラム等を展開しています。休暇期間を利用した短期の海外研修から学期中の長期の留学に多くの学生が参加しています。 ※2025年2月時点



クイーンズランド大学

ダブル・ディグリー・プログラム（DDP）で海外大学の学位も取得

昭和女子大学と海外提携大学の2つの学位（学士）を4年半～5年間で取得する「ダブル・ディグリー・プログラム」では、これまで100名以上の修了生を輩出しています。参加する対象学科の学生は、2年次または3年次から海外提携大学に2年間留学し、語学力を高めるだけでなく、その言語を使って正規科目を履修し、文化や歴史、社会など専門に応じた分野で学びを深めることができます。参加者の多くは留学未経験者ですが、本学入学後から始まる集中的な語学カリキュラムに参加するなど、ダブル・ディグリー・プログラム学生用の履修計画に沿って、海外で学位を取得するための力を身につけます。提携校留学中の授業料は本学の学納金から充当されるなど（一部留学先を除く）、多くの学生にチャンスが開かれています。

ダブル・ディグリー・プログラム提携校と修了者（2025年3月末見込み）

協定校	開始年度	修了者累積数
上海交通大学（中国）	2014年度	76名
ソウル女子大学校（韓国）	2017年度	10名
淑明女子大学校（韓国）	2021年度	10名
テンプル大学ジャパンキャンパス（アメリカ）	2020年度	18名
クイーンズランド大学（オーストラリア）	2023年度	0名（提携校卒業2名、留学中1名）
合計		114名

D/D/P/留/学/体/験/記・ク/イ/ー/ン/ズ/ラ/ン/ド/大/学

国際学科 山本寛子

強みを活かした学びを深め、可能性にチャレンジしたい、それがクイーンズランド大学(以下UQ) でのダブル・ディグリー・プログラム(以下DDP)を志した動機でした。UQでは2つの専攻、English as an International Languageとスペイン語を学んでいます。日本と比較すると授業時間は少なめですが、予習や課題が多く、また講義は予習内容を全員が理解している前提で進行するため、空いた時間はほとんど勉強に費やしました。

私にとって英語は2つ目の言語、またスペイン語は3つ目の言語となるため、それらの言語で行われる専門的な講義についていくのは、最も難しいことであったと感じます。留学に必要な英語資格のスコアを有していても、母語話者との大きな差を痛感する場面は幾度となくありました。とはいっても、自ら選択した進路ですからこれまでの18か月を必死の思いでまっしぐらに進んできました。

そんな大学生活の中でも勉強は苦ではありません。課題では幅広いテーマから問題を見つけ、議論形式のエッセイを書くことが多いため、講義内容以上の知識を調べて発見し、探究心を高めることができたと思います。さらに学修に対しての責任感が高まり、良い意味で鷹揚になったと考えています。多くの授業では平常点は加味されないため、授業の予習復習、出席も自分次第です。カリキュラムに縛られるだけではなく、この部分は力を入れよう、ここはポイントを押さえておけば大丈夫、など余裕が持てるようになりました。大学入学以前から目標としていたDDPへの参加を実現し、その修了が目前に迫っています。この留学経験を通して「初志を貫徹した」ことは私にとって大きく誇れる出来事となっています。





TOPICS

4年間を通じて国際教養を高めるプログラム「S-GLAP」でグローバル社会で求められる力を身につける

全学横断型の「S-GLAP(Showa Global Liberal Arts Program)」は、カリキュラムに留学が含まれていない学科の学生を対象にしています。4年間を通じてグローバル社会で求められる**①語学力 ②知識 ③マインド ④スキル**を身につけることを目指し、要件を満たした学生に修了証を授与します。

●S-GLAP登録から修了までの流れ



S-GLAPを履修して

現代教養学科 市角來未

自分の専攻以外に、語学・異文化交流にも力を入れたいと考え、取り組みを修了証として形に残せるS-GLAPは絶好のチャンスだと思いました。授業では国内外に存在する多様性や、自国文化やアイデンティティについて学び、語学力向上のために毎日の英会話レッスン（Power English）に参加しました。協定校の留学生との共修プログラム・SSIPでは異文化コミュニケーション力を高めることを意識しました。授業で教養を深め、プログラムで実践をする、インプット/アウトプットの場を両方得ることができる学びの機会になっています。S-GLAPでは専門分野に関わらず国際交流に興味のある他学科の学生と活動できるため、刺激や更なる学びにも繋がっています。GLAPゼミも始まり、今まで通りモチベーション高く、熱意を持って取り組みたいと思います。

Project Based Learning NEWS

プロジェクト型学修の今



私たちが山形県鶴岡市を盛り上げる！ 地方創生プロジェクトに奔走した3年間



国際学科 中村 玲季

プランの考案から実践へ 高校生と外国人をつなぐ地方創生

私は2022年、大学2年次に「鶴岡再発見プロジェクト」に参加しました。このプロジェクトは山形県にある鶴岡市と協働で行うプロジェクト型学修です。現代ビジネス研究所の公募で集まった学科・学年の異なる6名で活動を始めました。2023年からは「どさいぐ？鶴岡プロジェクト」と名称を変え、活動は今年で3年目になります。

活動1年目はANAホールディングスグループで地域創生事業を行うANAあきんど（株）と協働し、鶴岡市の課題を解決するためのビジネスプランを考案しました。プランを立案する前に、まずはプロジェクトメンバー全員で3泊4日の現地研修に参加し、鶴岡市への理解を深めました。「田んぼに浮かぶホテル」として人気のSUIDEN TERRASSEや民宿、宿坊「大進坊」に宿泊して精進料理をいただくなど、伝統的な食文化に触れる機会となり、鶴岡市は伝統を大切にしながら今に受け継いでいると実感しました。こうした食文化に加えて、出羽三山を中心とする精神文化が外国人観光客から注目されていることを知りました。

このように鶴岡市で情報を収集するなかで、私たちは外国人を呼び込み、現地の高校生が英語で観光案内をするビジネスプランを立案しました。このプランによって、外国人観光客にとってはこれまで不足していた言語サポートが充実し、鶴岡市を存分に観光できるようになります。また、高校生にとっては外国人をガイドすることで英語を実践で使用するまたとない国際交流の機会となります。鶴岡市と外国人、高校生の3者にメリットがあるプランを目指し、東京大学共催のビジネスコンテスト「チャレンジオープンガバナンス（COG）2022」において、オンラインでの視聴者投票の結果、金賞をいただくことができました。大学生活のなかでも素晴らしい思い出の1つになり、「どさいぐ？鶴岡プロジェクト」として継続して活動するきっかけとなりました。

2年目は、1年目に考案したプランの実現性を確かめるためにトライアルツアーを行いました。資金を集めるため、1年目に協働したANAあきんど（株）に協力していただき、クラウドファンディングを実施しました。ガイドに立候補してくれた高校生と一緒に作成した鶴岡市のガイドブックなどを返礼品とした結果、目標額に達し、年度末にはテンプル大学ジャパンキャンパスの学生4名を招待してトライアルツアーを完遂できました。高校生8名が外国人をガイドするツアーは大成功。高校生からは「外国人とコミュニケーションを取って、思ったより英語が伝わって、すごく楽しかった」、「普段の座学より楽しいから、これからも続いてほしい」とのコメントがあり感動しました。

学科にはない学びで苦手を克服

私がこのプロジェクトに参加したきっかけは、上海に1年間留学に行く予定がコロナ禍の影響でオンライン留学になったことにあります。家で授業を受けるだけでは寂しく、何か新しいことにチャレンジしたいと思いました。今まで、チームの中で発言することや自分の意見を発することがとても苦手だったので、プロジェクトを通して克服することが目標でした。また、大学卒業後に社会へ出る準備として、社会人の方と関わることで、授業だけでは得られない、特別な学びを身につけたいと思っていました。

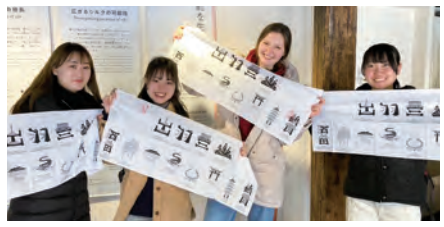
このプロジェクトは自分から発言しないと何も進みません。約3年間の活動を通じて、自らの意見を伝える力が鍛えられたと思います。特に2年目は鶴岡市の企業・団体の方々に直接メールで連絡し、「現地でお話をさせてもらえないか」と交渉してミーティングを組んでいただくことも多くありました。ミーティングでは取り仕切りも自分たちで行い、大勢の前で話す機会も多々ありました。その結果、徐々に発言がスムーズにできるようになりました。変化は普段の授業にも表れました。積極的に発言できるようになり、席も前の方に座るようになりました。自ら行動することができるようになり、成長できたと思います。



鶴岡市の伝統工芸品「絵ろうそく」の絵付け体験



羽黒山参籠所「斎館」にて精進料理をいただきました



松ヶ岡開墾場内にあるシルクミライ館を見学

どうなる？プロジェクトの今と自身のこれから

3年目となる2024年度は、日本で学ぶ留学生を現地の高校生がガイドするツアーを自走させるため、旅行会社と連携を図りながら活動を続けています。交渉の成果もあり、2025年度から鶴岡市の致道館高校と昭和女子大学が連携したゼミを作ることになりました。並行して、学園祭「秋桜祭」で出店するなど鶴岡市を発信する活動を進めていきます。

私は、大学卒業後全日本空輸（株）（以下ANA）でグランドスタッフとして働くことが決まりました。ANAにも社会貢献活動を行うプロジェクトがあると聞いていますので、社会人になっても引き続き新しい地域活性化の活動に関わっていきたいと思います。



第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」で「審査員特別賞」を受賞

プロジェクト PICK UP

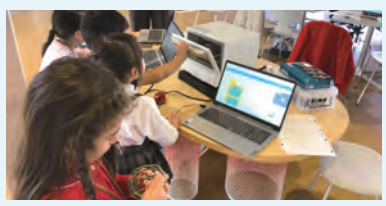
昭和女子大学では、社会や企業が抱える課題を学生独自の目線で解決する「プロジェクト型学修」を実施しています。学生は社会や企業から評価を受けながら、課題を発見・解決する思考力や行動力を養い、自分の強みを発見することができます。



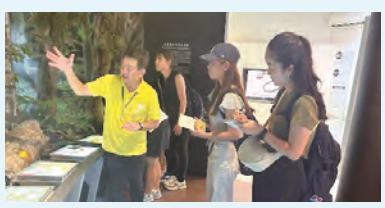
東伊豆町魅力発信プロジェクト



大井町プロジェクト



クリエイティブラーニングデザインプロジェクト



久慈市インバウンド戦略プロジェクト



Sustainable Dining



国際手話普及促進プロジェクト

このほかにもたくさんのプロジェクトが進行中です。詳細は昭和女子大学のホームページをご確認ください。

CAMPUS LIFE それぞれのキャンパスで学ぶ、センパイたちの1日



現代教養学科 三浦 明日香さん



国際学科 山本 寛子さん



国際学科 谷本 栞南さん

8:00

キャンパスは便利な「三茶」



世田谷キャンパスは三軒茶屋駅から7分以内。卒業生の建築家、永山祐子さんが設計した正門がお気に入りです。



10:00

勉強や待ち合わせは学生ホールで





勉強やグループワーク、お弁当を食べたり、友達との待ち合わせにも使っています。

12:00

友人とランチタイム



お弁当を持参したり、食堂に行ったり。
キャンパスには美味しいものがいっぱいあります！

14:00



学報委員会の編集会議

毎月昼休みに行う学報の編集会議でキャンパスマップのアイデア出し。次ページのマップを見て下さい。

ゼミで知見を広げる



教育や日本の社会制度について議論。考え方も一人一人違うので、楽しいです。

16:00

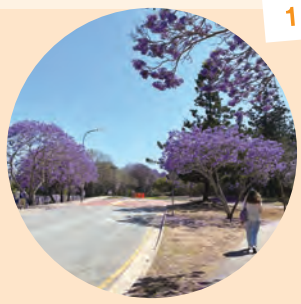
18:00



クラブ・サークル活動

「マンドリン・ギタークラブ」に所属。
定期演奏会が近いときは、20時まで練習します。

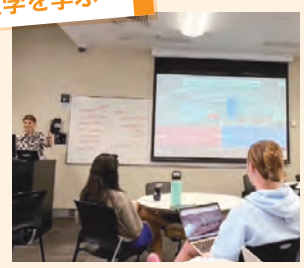
1限は朝8時から



大学内の寮から15分程歩いて教室へ。学内は自然に溢れ、ユニークな動物に遭遇します。

ラテンアメリカ文学を学ぶ

朝から3時間の講義は体力と集中力を要します。5分休憩では、クラスメイトとコーヒーを買いに行くことも。



ランチタイム





寮で提供される昼食を食べるか、学内でサンドイッチやお弁当を購入しています。



英語の歴史を学ぶ

教室で100名規模の学生が受講。6～8名程で各テーブルに座って、交流を深められます。

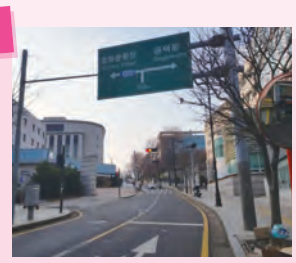
アカデミックディナー





年に数回、寮生全員が一堂に会するフォーマルな夕食もあります。

通学で体力UP



韓国の大学は丘の上に多く、キャンパスまでの坂道はなかなかの傾斜。1か月もすれば自然と慣れます。

「生きた」韓国語で講義を受ける





間違いを恐れず積極的に発言して、「生きた」韓国語で韓国文化や社会を学んでいます。現地の学生と同じクラスで学べる留学制度「ダブル・ディグリー・プログラム」ならではです。



今日は贅沢なランチ

ユッケビビンバを注文！学食は丼ものからうどんやラーメン、とんかつとメニューが豊富で、お値段は4000～7000ウォンほど。

図書館でテスト勉強



アプリで座席を予約できます。試験期間は多くの学生が一生懸命勉強していて刺激を受けます！

休日の過ごし方



日韓交流会に参加したり、友人と出かけたりします。交流会では、日本に対する新しい視点などを知ることができます。

昭和女子大学を学報委員が紹介します

CAMPUS MAP



2024年度学報委員

国際交流の体験をするなら「国際交流センター」へ ❶

1号館の2階にある国際交流センターでは、留学や異文化交流を支援する様々なプログラムを行っています。

夏休み等を利用して全学科の学生が留学できる「昭和ボストン」では、英語のクラスが習熟度別になっていたり、異文化交流では日本語と英語の両方を使えるプログラムがあったりと、英語が苦手な学生でも参加しやすいプログラムもあります。

センター内はソファや音楽がかかっているリラックスできる空間です。気になるプログラムがあれば気軽に相談してみましょう。（井原美咲）



「キャリア支援センター」を活用しよう ❷

就活のために今から何ができるんだろう？将来に漠然とした不安を持っているあなたにキャリア支援センターの利用をお勧めします。

就活は受験同様、早めの準備がとても大切。低学年の「キャリセン」活用のコツをご紹介。

①個別面談　キャリア支援センターには職員20名、キャリアカウンセラー5名がいて、各学科担当の職員から学科の特性や個々の背景に応じた手厚いサポートを受けることができます。

②社会人メンター制度やインターンシップ情報、OG名簿の閲覧などの情報収集。

③講座やガイダンスに積極的に参加する。

詳細はキャリア支援センター在学生向けサイト（UP SHOWAリンク）からも確認できます。何も分からなくても大丈夫。まずは気軽に立ち寄って、自分のキャリアについて相談してみましょう！　（東出みずゞ）

学びのおすすめスポット「図書館」「ラーニングコモンズ」 ❸

授業の予習・復習や、グループで課題に取り組むときは、「図書館」や「ラーニングコモンズ」がおすすめです。

8号館3階の「図書館」は、個人の自習スペースや、グループスタディルーム、視聴覚コーナーもあり、目的に合わせて利用できます。また、約61万冊の蔵書も活用できます。

8号館1階と3号館1階の「ラーニングコモンズ」も、学生の主体的な学修を支えるスペースです。一人で集中して勉強する学生もいれば、課題やプロジェクトのグループワークを行っている学生もいます。暖色系の照明や開放的な空間で集中して学びを深めることができます。（靏由希子）

新たな発見があるかも!?「光葉博物館」 ❹

7号館1階の光葉博物館は、2024年に開館30周年を迎えました。博物館では年5回展覧会を行っています。展覧会では、所蔵品の展示だけでなく、学科や研究所、図書館等による、学内の様々な活動や研究の成果を発表する場でもあります。所属する学科にかかわる展示だけでなく、開催される様々な展覧会に足を運んでみると、新たな発見につながるかもしれません。

また、光葉博物館は、学芸員資格取得のために必要な館務実習の舞台にもなっています。学芸員資格取得をめざす学生にとっては、実践的な学びの場でもあります。　（星咲織）



〈 推し！MEMO 〉

★ 3号館CAFE 3



ソフトクリームが美味しい！
季節限定商品も楽しめます。
学内バイトもあるよ！
5種類のスタンプカードで
お得になります。

★ 記念講堂地下のショップ プレリュード



本が10%オフで
買えるほか、
軽食や飲み物、
文具等も買える！

★ 8号館1階学生ホール

ゆうちょATM、電子レンジ・
自販機、コンセントあり！
卒業生の建築家
永山祐子さんによる
デザインです。



〈 推し！MEMO 〉

★ 各建物をつなぐ通路があるよ！



1号館の
3階から2号館へ
4・5階から8号館へ

★ カフェテリア「ソフィア」



1号館西側の階段を使うと外に出ずにソフィアに行けます！
おススメの「あんかけカツ丼」
「油そば」はどちらもテイクアウトOK
110円のコーヒー・カフェオレの自販機もあり

★ いろいろ便利！1号館1階

- 学生支援課で傘が借りられます
- 円形ホールにコピー機があります





プロジェクトに参加しよう！ 現代ビジネス研究所 5

現代ビジネス研究所（ビジ研）は、学内のプロジェクト活動の拠点であり、社会人研究員の支援や、企業や地域との連携を行う研究所です。ビジ研プロジェクトの魅力は、学科を超えた繋がりです。それぞれの得意分野を活かし、一つの目標へ向かって活動します。大変なこともありますが、壁を乗り越える経験は成長につながり、自分の世界が広がります。

プロジェクトはUP SHOWAの掲示板で募集するので、見逃さないようにしましょう。興味のある方は、ぜひ10号館のビジ研を訪ねてください。何もわからない状態でも大丈夫。相談すれば職員の方がいろいろな情報を教えてくれます。垣根を超えた交流をたくさん経験し、自分の可能性を広げてみませんか？

（三浦明日香）

今日のランチ、どこでする？ 6

●カフェテリア「ソフィア」（1号館地下1階）

10:30~15:00
麺類や丼ものなど幅広いメニューがあります。
H&Bランチ・日替わりランチもおすすめ！

●キッチンカー（1号館円形ホール前）

日替わりで色々なメニューが楽しめます！

●学生ホール（8号館1階）

お弁当販売や自動販売機で軽食が購入可能。

●ショップ プレリュード（人見記念講堂地下1階）

おにぎりやパン等購入でき、イートインスペースもあります。

●CAFE 3（3号館1階）

10:15~17:00
ドリンクとスイーツがあります。
期間限定メニューもおすすめ。

昼休みはどこも混雑するので早めに動くことがポイント。素敵なランチタイムを楽しんで！

（三浦明日香）













新たな世界との出会いが待っている 人見記念講堂 7

式典や文化講座で使用される人見記念講堂は、1980年に学園創立60周年を記念して建てられました。外部のコンサートやTV番組の収録等で使用されることもあり、昭和女子大学の顔ともいえる建物です。

文化講座のうち、「女性教養講座」（女教）、「文化研究講座」（文研）は、年間それぞれ4講座ずつ受講します。女教の司会者になると、講師の方と直接話すこともできます。文研は音楽、演劇、落語などを鑑賞します。演目によってはオーケストラピットが見学可能。さらに花束贈呈係になると鑑賞後、出演者の方に花束を贈呈するために、ロイヤルシートで舞台を鑑賞することができます。

（高須結菜）

★ 8号館6階PC教室

授業で使用していなければ自習での利用が可能。
ログインには学生証が必要ですが、忘れた場合は同じ階のコンピュータ事務室へ！
また、オンデマンドプリンタの印刷用ポイントは年度初めに付与されます。

キャンパスライフを充実させよう クラブ・サークルの拠点 コスモス館 8



現在、昭和女子大学のクラブ・サークルは全部で40団体。コスモス館は、学部・学科・学年の垣根を越えて、日々クラブ・サークルに所属する学生たちが活動をするための大切な拠点となっています。

クラブ・サークルの部室の他、学友会執行部や秋桜祭実行委員の部屋があります。

月～土の8時30分から20時30分まで（委員会・クラブの活動時間は20時まで）委員や部員が利用することができ、昼食を部室やラウンジでとることも可能。また、防音効果のある音楽室もあり、予約をすればどの団体でも使用することができます。

興味のある団体があれば、まずは連絡してみましょう。

（石井碧）

2025年度 スケジュール

主な行事日程（1年 2年 3年 4年）	就活イベント	全学対象留学プログラム
4月 オリエンテーション・各種ガイダンス、健康診断 5日（土）入学式 10日（木）新入生歓迎フェスタ 11日（金）前期授業開始 23日（水）第1回学友会学生総会	第1回就職ガイダンス SPI能力模擬試験	2月～8月 前期交換私費認定留学
5月 1日（木）創立105周年記念式 2日（金）創立記念日（休講） 21日（水）避難訓練（12:05-12:30）※雨天時は28日（水）に順延	基本講座 応用講座	3月～7月 春期ボストン セメスタープログラム
6月 21日（土）保護者懇談会		
7月 9日（水）第2回学友会学生総会	夏季インターンシップ	8月～9月 夏季海外研修プログラム （ボストンサマーセッション等）
8月 夏季休暇（8/1～9/30）		
9月	第2回就職ガイダンス	
10月 1日（水）後期授業開始 8日（水）避難訓練 合同避難訓練（11:45-12:30）※雨天時15日（水）に順延 22日（水）第3回学友会学生総会	就活スタートアップ講座 SPI能力模擬試験	8月～2月 後期交換・私費認定留学
11月 7日（金）秋桜祭準備（休講） 8日（土）・9日（日）秋桜祭 10日（月）片付け（休講） 12日（水）先哲の慰霊祭・墓前祭	応用講座 ワークショップ ○模擬面接 ○グループディスカッション 1日（土）4年生による就職内定者報告会 秋冬期インターンシップ	9月～12月 / 1月 秋期ボストン セメスタープログラム
12月 冬季休暇（12/26～1/5） 卒業課題 卒業論文 提出		
1月 6日（火）授業開始 17日（土）大学入学共通テスト（休講）	学内個別企業説明会	
2月 3日（火）後期授業終了日 9日（月）年度末総長・学長講話		2月～3月 春季海外研修プログラム （日本文化プログラム等）
3月 11日（水）卒業式		

2025年度 文化講座一覧

女性教養講座

講演日	講題	講師肩書き・講師名
5月 7日（水）	【1年生必修】知っておいて頂きたい 皆さんのからだと心の仕組み	イーク表参道副院長 高尾 美穂
5月21日（水）	逆境の中にこそ夢がある ― 不可能を可能に ―	東京大学先端研究所フェロー・ 前 熊本県知事 蒲島 郁夫
6月11日（水）	大国のエゴと国連、 そして日本の対応	広島大学平和センター 名誉センター長・ UCLA Terasaki Center理事・ 台湾国立高雄大学 シニア研究フェロー 西田 恒夫
6月18日（水）	メンタルのセルフケアとSOSの出し方	むかわ町国民健康保険 穂別診療所副所長・ 総合診療科医・精神科医 香山 リカ
6月25日（水）	家族の常識を問い直す ～ケアとジェンダーの視点から～	京都産業大学教授・ 京都大学名誉教授 落合 恵美子
7月 9日（水）	デジタル化で拓く日本の行政の未来	衆議院議員 河野 太郎
10月 8日（水）	科学を文化に ― 博物館の楽しみ方 ―	国立科学博物館 館長 篠田 謙一
11月 5日（水）	演劇を生きる ― 夢の現場への道しるべとして ―	舞台演出家 生田 みゆき
11月26日（水）	女性教養講座専門委員会presents! 特別企画 「好き」を仕事にする（仮）	

文化研究講座

公演日	公演名
4月24日（木）	【1年生対象】春の名曲コンサート 東京フィルハーモニー交響楽団
4月28日（月）	デュオ オザワ・ビアーニ（ヴァイオリンアンサンブル）
5月14日（水）	狂言のこころ（大蔵流狂言山本家）
5月20日（火）	いにしえの音楽史 日本と西洋の宮廷音楽
6月 4日（水）	カール・ハインツ・シュッツ&吉野直子（フルート&ハープ）
6月12日（木）	ディズニー・オン・クラシック 夢とまほうの贈り物2025（オーケストラ）
6月20日（金）	アメイジング・ソングス 森麻季（ソプラノ）&錦織健（テノール）
7月 3日（木）	リトルプリンス（ミュージカル）
10月22日（水）	チェコ少女合唱団<イトロ>
10月29日（水）	ピアノバトル
11月12日（水）	日本フィルハーモニー交響楽団 華麗なる協奏曲
11月20日（木）	ロイヤルコンセルトヘボウ管弦楽団 ブラス・アンサンブル
12月 2日（火）	シューベルトの宴 ～おひとりさまから、5名さま「ます」まで～（アンサンブル）
12月10日（水）	カルテット・アマービレ（弦楽四重奏）
12月18日（木）	伊豆の踊子（演劇）

2024年度学報WEB記事抜粋

創立104周年記念式を挙行



5月1日に人見記念講堂で創立104周年記念式典が執り行われました。校歌斉唱に続き、創立者人見圓吉先生の声による「開講の詞」が講堂に流れました。附属中高部の生徒が讃歌「新しき日」を披露しました。山崎日出男理事長による式辞、坂東眞理子総長による祝辞の後、初等教育学科・健康デザイン学科の学生によるナレーションで「学園の創立によせて」と題したスライドの発表が行われました。式典の最後には、各奨学金の授与や、女性文化研究賞・研究奨励賞・特別賞の発表もあり、祝歌を全員で斉唱し閉式となりました。


山崎日出男理事長


坂東眞理子総長

式典で歌われた讃歌「新しき日」は、昭和41年（1966年）の中高部1号館の落成式に合わせて第2代理事長、第5代学長の人見楠郎先生が作詞、佐原正先生が作曲したものです。祝意を表す歌として様々な晴れの舞台で歌い継がれており、「今日の佳き日に創立記念日を迎えるにあたり、気持ちを新たに、未来に向けた第一歩を踏み出していこう」という思いが込められています。中高部の生徒による演奏は、新たな挑戦を感じさせる力強いものでした。この演奏を胸に、大学生活の新たな一歩を踏み出していきたいと思いました。

学生によるスライド「学園の創立によせて」の発表は、私たちが通う学園について知る良い機会となりました。創立の歴史を学んだことにより、今の私たちが充実した環境で勉学に励むことができるのは、創立者の人見圓吉先生をはじめとする多くの人々の計り知れない苦労と努力のおかげであるということを知ることができました。式典に参加したことで、世の光となるために学園の特色を活かした学びを積極的に行っていこうという気持ちが強くなったように感じます。

（岩崎菜乃巴・井原美咲）

女性教養講座

「女性と政治」

女性教養講座「女性と政治」で小渕優子先生に登壇いただきました。講座は2部構成で、最初に小渕先生が「私の歩んできた道」を、次に坂東眞理子総長との対談が行われました。

小渕先生は内閣府特命担当大臣（少子化対策・男女共同参画・公文書管理・青少年問題・食育）、経済産業大臣等を歴任され、現在は自民党選挙対策委員長として活躍されています。

小渕先生が政治の世界に踏み出されたのはお父様の小渕恵三氏が内閣総理大臣に就任されたことがきっかけです。大学卒業後、社会人になってからのことでした。父を支えたいと恵三氏の秘書に。恵三氏が突然の病で亡くなった際、周囲の勧めや父の思いを継ぎたいという気持ちから選挙に出馬し、衆議院議員に26歳で初当選を果たしました。講演で印象に残ったのは、「沢山の人の意見を聞き、意見が衝突した際どこで落としどころを見つけるのか」という言葉です。「政治家の活動の一つとしてさまざまな立場の方と話す機会があります。その中で社会が必要としていることは何か、国会で議論していくことに政治の面白さがあります」と小渕先生。授業やプロジェクト活動を行う私たちにも関わり、目標に向かって進むためには必要なことであると感じました。


小渕優子先生

国会で意見を述べ、討論するのは国民から選ばれた国会議員です。自分の意見を反映するためにどの政治家を選ぶのか、将来を担う私たちの投票は非常に重要です。また、女性議員が増えることは女性の働きやすい社会、誰もが暮らしやすい社会にもつながります。

講座終了後、学報委員によるインタビューをさせていただきました。困難に直面したときの乗り越え方について伺うと、「生きていると山があれば谷もある。困難に振り回されることもあるだろうけれど、じっと耐える時期も必要」と教えてくださいました。


インタビューする学報委員

小渕先生は料理が趣味で、二人のお子さんによく作るのはカレーだそうです。私たちの質問に笑顔で答えてくださる姿に、親しみやすさを感じました。また、小渕先生はまさに「今を生きる女性」を体現されているという印象を受けました。国会議員や大臣を務め常に挑戦する姿勢。女性だからできないという昔の固定概念に捉われず、女性の新たな選択肢を広げることへの責任感。困難なことにも楽しみを見出し実践する姿。そこに芯の通った強さを感じました。挑戦する気持ちを失わず、自分らしく生きることを大切にしたいと思います。

（宮本早弥香・山本千晴）

「自分の未来と子供の未来を守る食事」

6月12日に、講師に菅沼安嬉子先生をお招きし、女性教養講座が開かれました。

内科医の菅沼先生は、母校で保健授業の講師も務められました。学生の中には「まだ大丈夫」とがまんして、体調を崩してしまう人もいるそうで、菅沼先生は、医学的な知識をつけることで健康を守るための活動を続けています。

「妊娠時のケアに関して日本はかなり遅れていました。ケアの名称が横文字であることが何よりの証拠です」と菅沼先生は言います。

例えば「プレコンセプションケア」。コンセプションは妊娠、つまり妊娠する前に行うケアのことで、妊娠前からタンパク質、葉酸、鉄分を採ることはとても重要です。タンパク質摂取には、これを多く含む肉を食べるといいのですが、それが肥満につながると、間違った考えをする人もいます。脂身を大量に摂取しなければそうした心配はありません。脂質には血液をサラサラにするn-3系脂肪酸も含まれています。

葉酸はビタミンの一種で、ホウレンソウ、小松菜、海藻、ブロッコリー等から摂ることができます。葉酸が十分摂れていないと、生まれてくる赤ちゃんが脳症や脊椎破裂等の病気にかかってしまう可能性があります。

また女性は将来、骨粗しょう症になるリスクが男性より高く、骨密度は年と共に減るため、今からカルシウムを貯蓄することが重要です。

昔の東日本と西日本で骨折数を比較すると、東日本のほうが骨折が少ないという結果があるそうです。これは食文化の違いで、かつて東日本では納豆摂取量が西日本に比べ多かったためだそうです。


菅沼安嬉子先生

食に気を配ることで健康寿命は延びます。しかしこれを理解する若者は減っており、アレルギーに関しても、命の危険と背中合わせになっているにも関わらず認識は低いままです。幼少期に皮膚などから侵入してきた異物を免疫系がブロックすることで、人間の身体は守られています。しかしこの異物が食べ物であった場合、抗体を必要以上に作り攻撃してしまうとアレルギー反応として出てしまいます。アレルギーはアナフィラキシーショックを引き起こし、対応を間違えれば命の危険にさらされるものです。

菅沼先生のお話を聞いて、食により得られる健康も食から引き起こされる危険も、どちらも私たち当事者の認識の低さを改善することで解決できる課題だとあらためて思いました。将来妊娠した場合はもちろん、自立の際には自分自身が自らの健康を守る必要があります。今からしっかりと知識を身につけ、食に向き合っていこうと意識することができました。菅沼先生、ありがとうございました。（加藤愛歩）

CAREER キャリア支援

Girls Be Ambitious!

手厚い就職サポート 昭和女子大学の キャリア支援



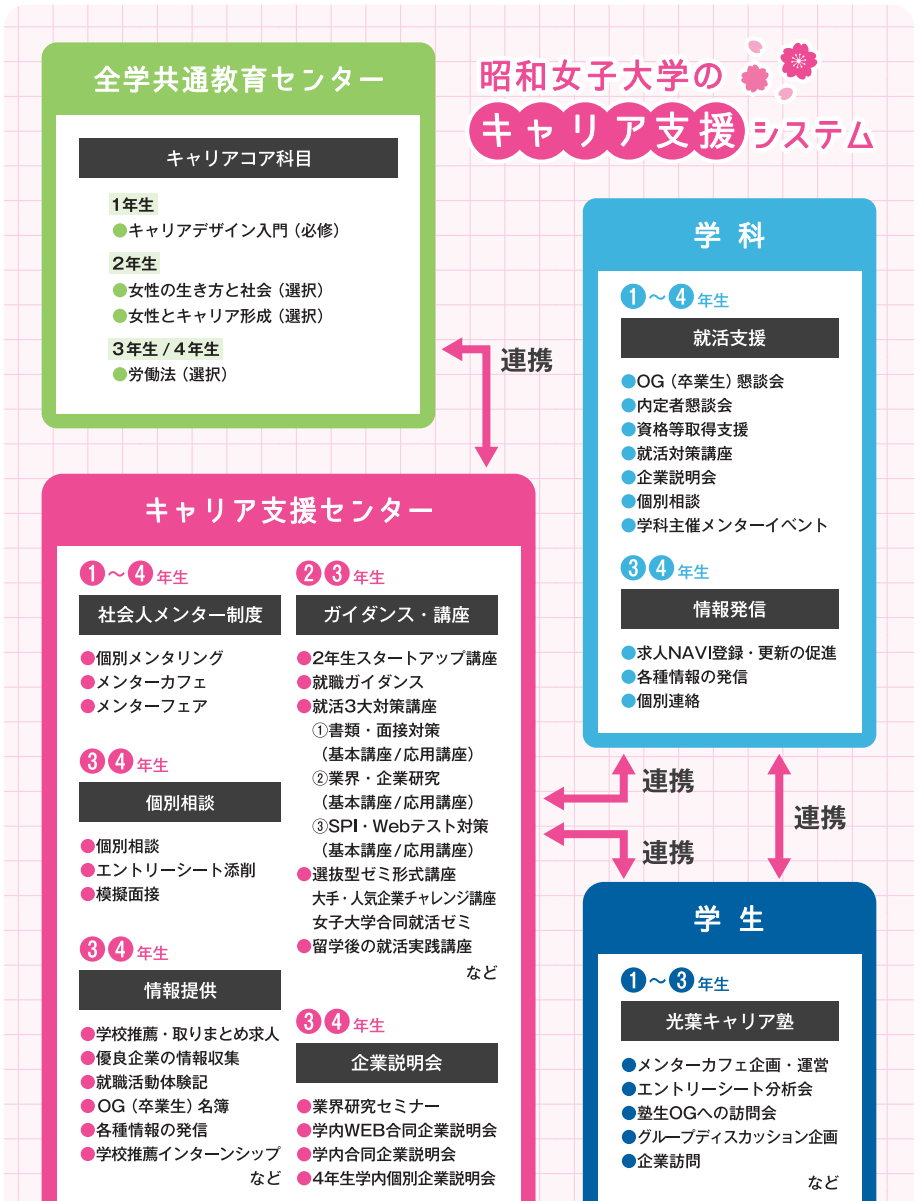
キャリア支援部長
伊藤 純 教授

本学のキャリア支援システムは、「キャリア教育」「社会人メンター制度」「就職支援プログラム」の三本柱で構成されています。教員組織であるキャリア支援部と職員組織であるキャリア支援センターとが車の両輪となって、みなさんのキャリアを手厚くサポートしています。

「キャリア教育」の大本は、大学全体および各学科で策定している「キャリアデザインポリシー」です。1年生必修の「キャリアデザイン入門」では、将来の自分の夢や目標を描くことの大切さ、自分と社会にとっての就業の意義、国内外の雇用労働環境やジェンダー問題、自分の人生にリーダーシップをとるとはどういうことかなどを学びます。2年生以上は、グローバル、ワークライフバランス、共創、やりがい・成長等をキーワードとしたキャリア科目から選択、履修します。

「社会人メンター制度」は、年齢も職業キャリアも様々な社会人女性の方々が、みなさんのメンターとなり生き方や働き方について直接アドバイスをしてくださるというものです。日頃、社会人女性からリアルな仕事や生活のお話を聴く機会の少ない学生にとって、メンターの話は未知の世界に一歩踏み出す勇気を与え、視野を広げる絶好の機会となっています。これまでに延べ2万人の学生が利用し、自分のキャリアデザインに役立てています。

「就職活動支援プログラム」は就職活動が本格化する3年生を中心に自己分析、業界・企業研究、ウェブテスト対策、面接対策などを講座形式あるいはゼミ形式で行うものです。低学年次から参加できる「スタートアップ講座」を開設し、就活の早期化に対応しているほか、近年、採用選考においてその重要性が増しているインターンシップにも力を入れています。ほかにも、個別面談、ライティングサポートなど、みなさんが活用できる制度がたくさんありますので、ぜひそれらをフル活用して自分の未来を切り拓いていってください。応援しています！



キャリア支援 Q&A

Q.キャリア支援についてどこで情報を入手できますか?

A.「キャリア支援センター在学生向けサイト」（UP SHOWAお気に入りリンクからジャンプ）で確認できます。3年次には就活を行う2年間のスケジュール帳もついた「キャリアガイドブック」（無料）を配布します。就職活動準備から活動中に役立つ情報が満載です。

在学生向けサイト（限定公開）

Q.個人面談は受けた方が良いのでしょうか？

A.毎年、個人面談を受け就職活動の準備をされた方は、効率よく活動を進める傾向が強く、確実に内定につなげていますので、ぜひ積極的に利用することをお勧めします。個人面談には、準備しているエントリーシートや履歴書、面接内容などがある場合は、面談時に持参していただくとスムーズに進めることができます。しかし、何を相談したらいいか分からない場合など、準備ができていなくても問題ありません。普段からUP SHOWAのマイステップ機能に、ガクチカや自己分析に役立つ情報を記録しておくことをお勧めします。

Q.就職活動支援講座について教えてください。

A.キャリア支援センターが提供する各種講座は年間を通じて体系的に組まれています。就職活動への準備ができるようになっているので、ぜひ受講してください。受講が必須となっている講座だけでなく、必要に応じて選択講座も受講し力をつけましょう。

Q.個人面談を行うのはどのような方ですか?

A.国家資格を持つキャリアカウンセラーの先生や、就職支援に精通した職員が行います。なお、面談者を選ぶことはできませんので、予めご了承ください。

キャリア支援センター
1号館2階 円形ホール

開室時間
平日・土曜8:45~17:00
（予約外面談受付は16:30まで）
※大学が定める休業日除く

進路・キャリアに関することならどのようなことでも相談が可能です。利用料金はかかりません。たくさんの資料とともにお待ちしています。

就活体験記 ～キャリア支援センター活用を～



岩橋 里紗
（2024年度 心理学科卒業）
IT総合サービス企業
（テクニカルエンジニア）入社

高校の時に演劇部で音響を担当し、当時からパソコンを使って作業していました。また、中高の授業でエクセルやワードを教わり、もっとスキルを身に付けたいと考えていたところ、昭和女子大学の入学式の日にデータサイエンスの副専攻が導入されることを聞きました。「これから必要な力だ」と思い、1年生から履修しました。授業は密度が濃く、基礎から教えてもらえることが魅力でしたが、課題が大変で、プログラミングではエラーが出て消えないこともありました。その後、3年生の6月にITパスポートの資格を取り、プログラミングも学びました。このことが、私の就職活動に大きな影響を与えました。

一方、2年生を対象に学内で実施している「スタートアップ講座」に参加しましたが、その後、友達同士で「どんな講座などに参加するべきか分からないよね」と話すことが増えました。そこで私は、就活のために必要な情報がどこにあるかを探し、キャリア支援センターを徹底的に活用することにしました。具体的にはエントリーシートの添削や模擬面接です。ひとりでは気づけなかった話し方のくせ等も直すことができました。

最終的に、IT系企業を中心に8つの会社から内定をもらいました。3年生の3月下旬に第一希望の会社から内定をいただき、4月の初めに内定を承諾して私の就職活動は終了しました。後輩の皆さんに伝えたいことは、不安な気持ちになっても焦らないで行動してほしい、ということです。不安になったら、それを解消するためにどんな行動を取ったらいいか考えることをお勧めします。そのような時に頼りになるのがキャリア支援センターだと思います。



2023年度卒業生の実就職率*が95.9%で全国の女子大学で1位

「2024年実就職率ランキング」（大学通信調べ、2024年7月25日発表）
全国の女子大学（卒業生1,000人以上）で1位となりました。

＊実就職率＝就職者数÷（卒業者数－大学院進学者数）×100

【昭和女子大学を卒業後、一歩踏み出して行動し続ける女性を紹介するシリーズ】

卒業生訪問

世界を舞台に 製薬業界で奮闘中 留学、学内外で得た 強みと自信



第一三共株式会社
石塚 祐子さん

Profile
2015年に国際学部英語コミュニケーション学科(2025年度より、国際教養学科、国際日本学科に改組)を卒業。新卒でアメリカに本社を置く製薬会社イーライリリー(株)に入社。転職先の第一三共(株)ではアジア・南米中米部門 乳がん担当プロダクトマネージャーを務めた後、現在はアジア・中南米部門 希少疾患担当プロダクトマネージャーを務める。

グローバルな環境で 製薬のマーケティングを支援

製薬メーカーの第一三共(株)でアジア、中南米市場を対象とした希少疾患のプロダクトマネージャーを担当しています。日本の企業でありながら世界各国に支店があるため、グローバルな環境で仕事をしています。現地スタッフとも、クライアントとも、コミュニケーションは全て英語。私の業務は各国で安全で適切に、そしてスムーズに製薬が流通するように現地のスタッフやチームを支援することです。医師から、「あの患者さんは、最初は子どもの入学式に出席することが目標だったけど、それも乗り越えて夏休みに旅行へ行ったみたいだよ」と投薬によって回復した患者さんのエピソードを聞くこともこの仕事のやりがいになっています。海外出張も多く、世界の学会などに出向いて最先端の情報に触れられるのもこの仕事の醍醐味です。

大学での挑戦が自信に

大学時代は、多くのことに挑戦しました。昭和ボストンへの留学をはじめ、茶道部、ESS(現Language Exchange)、リーダーズアカデミー*。学外ではJETRO(日本貿易振興機構)でのインターンシップ、そしてビジネスコンテストを運営するサークルへの参加、着付けの習い事やアルバイトなども行っていました。

留学では約半年間、昭和ボストンへ行きました。現地での授業は、日本で主に行っているインプット型の授業とは異なります。ワークショップや参加型のものが多く、英語を使って様々なテーマでコミュニケーションをとる機会が多かったことが印象に残っています。学外でも英語に触れる機会をさらに増やすため、日曜日には現地のボランティア活動に参加したり、教会へ行って現地の友達を作ったりしていました。また、英語を習得するだけでなく、物事の捉え方や考え方、概念、宗教、食べ物などの異文化を受け入れることも学びました。現在、職場には様々な国や地域の同僚がいるため、相手の文化を尊重したうえでコミュニケーションを図る際に活かされています。



学寮研修で所属していたコージー先生のゼミが1位を獲得したときもの

リーダーシップとは何かを学ぶ

大学では英語を使用する授業でグループワークが多く、お互いの意見を尊重しながらそれぞれが得意なことを活かし、同じ目標を目指すという経験を数多く積みました。また、自分だけがチームをリードするのではなく、チームメンバーの皆が活躍できる雰囲気づくりが大事だということもその際学びました。特に海外の先生が行う英語の授業では、他者を尊重しながら自分の意見も言う「アサーティブネス」という振る舞いが自然と鍛えられました。

昭和ボストンへの留学後には、坂東眞理子総長が主催されていたリーダーズアカデミーでさらに視野を広げたいと思い参加しました。女性の社会問題をテーマに日本社会の現状を知り、社会における女性の立場を再認識する有意義な機会となりました。政治に携わる方からの講義やケーススタディ、グループワークやコンペティションに参加するなどしてアカデミーの仲間たちと全力で取り組みました。

*リーダーズアカデミー：現在は「リーダーシップ教育認証プログラム(全学)」として開設

どんな環境でも自分次第で 最高の舞台にできる

1年生の頃までは、元々志望していた大学に入ることが出来なかった自分を責め続けていました。しかし、母に「始める前から文句を言うのではなく、頑張ってみたら楽しいかもしれないよ」と励まされたことで、ここで与えられたことは全力でやろうと決意して、大学で提供されている様々な情報を収集し、精力的にいろいろなことに取り組むようになりました。どんな環境にいても自分次第では最高の舞台にすることができるので、今では昭和女子大学に入学して良かったと思っています。

学生時代にやっておくべきことをアドバイスするなら、「興味を持ったことは全部やった方がいい」と伝えたいです。私は在学中様々な経験をしても、自分が得意だと思えることがなかなか持てませんでしたが、大学時代の活動や出会いの中で一つのことに深く取り組める専門性の高い仕事に憧れるようになり、学内外で開催された企業説明会の中で興味を持てたのが製薬業界でした。

業界の女性コミュニティの 立ち上げメンバーに

2023年にヘルスケア業界に横断的に関りを持つコミュニティ「HBA(Health care Business women's Associate)」日本支部の立ち上げに関わりました。このコミュニティは世界中に50以上の拠点があり、その初の日本支部を複数の会社の数名で立ち上げ、運営を続けています。コミュニティではヘルスケア業界で働くメンバー一人ひとりが個々の可能性を最大限に発揮し、成長し、ビジネスに貢献できることを目指しています。メンバー自身のポジションにあわせた研修や、公私での悩みなど、会社を超えたネットワークを通じて解決しています。

これまで経験した様々な出来事や学んだ「点」が、少しずつ繋がって「線」になってきていると感じています。自分の人生を振り返ると、1社目の製薬会社で乳がんの製薬に関わったことや業界団体のコミュニティの立ち上げ、着物の着付けで師範を取得したことなど、不思議と女性のために動いています。女子大学で学び、女性であることについて考える機会が多かったこともあり、自然とそういった方向に動くのかもしれません。今後も大学生活で学んだことや経験したことを活かして、様々な活動に挑戦していきます。



2024年度トピックス

大学・大学院

実施・開催月	内 容
2024年4月	●2024年度入学式 開催（4/2） 計1616名が入学 ●光葉博物館 開館30周年記念展「光葉博物館のあゆみ」開催（4/23-6/23）
5月	●創立104周年記念式 開催（5/1） ●大学院 心理学専攻 第7回公認心理士国家試験合格率100%を達成
7月	●「2024年実就職率ランキング」で、全国の女子大学で2年ぶりに1位 （95.9%、2023年度卒業生）
10月	●全国進学校調査（2024年） 6項目で全国の女子大1位 （教育力・グローバル・改革力・学生が成長する大学・面倒見・就職）
11月	●第32回秋桜祭 開催（11/9） ホームカミングデーを10年ぶりに実施、約500人が参加 ●グローバルビジネス学部・30% Club Japan大学グループ共催 特殊研究講座開催 「トップマネジメントと語ろう、グローバル時代のビジネス・キャリア ー 女性リーダー育成の課題を経験、意識、環境から考える」（11/27） ●公立小学校教員採用試験 47名の受験者全員が正規教員として合格 ＊児童教育コースの公立小学校教員採用試験受験者、複数受験による合格含む
2025年3月	●キャリアカレッジ10周年

グローバル

実施・開催月	内 容
2024年4月	●日本語教育センター開設 留学生の受け入れで、大学のグローバル化を強化
5月	●TUJ ダブル・ディグリー・プログラム3期生が同校を卒業 ビジネスデザイン学科から初の卒業生を輩出
8月	●「日中韓プログラム」本学で8回目の開催 日本、中国、韓国の女子大学生が女性のリーダーシップについて議論
9月	●「ダブル・ディグリー・プログラム」修了生が100名を突破
10月	●「Showa Direct 4.5」でベトナムから留学生3名が入学
11月	●国際学科・韓国淑明女子大学校 公開講座・シンポジウム 「日本における韓国学の発展とKF Global e-Schoolの役割」を開催（11/2）
12月	●オーストラリア クイーンズランド大学 ダブル・ディグリー・プログラム1期生2名が卒業

2024年度全学対象ボストンプログラムの参加者数

●ボストンサマーセッションプログラム：79名　●日本文化プログラム：17名
●春・秋期15週間ボストンプログラム※：17名　●アメリカ初等教育演習：36名

※春期・秋期15週間ボストンプログラムは、2025年度より名称が春期・秋期ボストンセメスタープログラムへ変更となります。

2月7日（金）人見記念講堂で行われた総長・学長講話にて STUDENTS OF THE YEAR・TEACHER OF THE YEARの表彰式が行われ、91名の学生と7名の教員が受賞しました。
これらの賞は、学内外で活躍した学生や教員をロールモデルとして顕彰し、学内の士気を高め教育の質向上につなげることを目的としてSTUDENTS OF THE YEARは2010年度、TEACHERS OF THE YEARは2017年度からはじまりました。



STUDENTS OF THE YEAR 個人5名、6団体　対象学生91名

●人間文化学部日本語日本文学科 馬瀬狂言プロジェクト
伊勢市の馬瀬狂言保存会との交流・意見交換を重ね、日本の伝統文化とその継承のあり方を探究し、馬瀬狂言実演の公開講座や図書館企画展示を成功させました。

●国際学部国際学科4年生　永井 結
文部科学省「トビタテ！留学Japan」の奨学金でスペインに留学、TUJダブル・ディグリー・プログラムを修了。また食料廃棄問題の認知向上のため「Sustainable Dining」を立ちあげるなど、社会に目を向け学内外の活動に積極的に参加しました。

●グローバルビジネス学部ビジネスデザイン学科　三茶世田がえる（宮脇ゼミ）
（株）オージス総研主催のソフトウェアコンテストに参加し、考案したAIを活用した若者向け恋愛サポートアプリ「愛にカエル」がゲスト審査員賞を受賞しました。

●人間社会学部心理学科3年生　板倉 和香
「タンザニアさくら女子中学校支援プロジェクト」のリーダーとして活動、さらに「S-GLAPにおけるGLAPゼミ」「国際交流グループCHAWA」「国際手話普及プロジェクト」「Asian Women's Leadership Program2024」に参加するなど、リーダーシップとグローバルな活躍を続けてきました。

●人間社会学部福祉社会学科4年生　定方 美穂
せたがや福祉区民学会「学生理事」を3年間務め「多様性を認め合う地域を目指す」というテーマでワークショップを企画・運営、さらに保育士と社会福祉士のダブル資格を取得するなど学業に精励しました。

●環境デザイン学部環境デザイン学科　2024年前期　映像デザイン演習Ⅱ　履修学生
「映像デザイン演習Ⅱ」の授業で学んだ映像制作の知識とスキルを活かし、学生ならではの視点で個性豊かな新国際学部のCM映像を作り上げ、本学の広報に貢献しました。

●Showa Digital Square学生運営部コアグループ
10号館1階のコワーキングスペースShowa Digital Squareの広報・企画・運営において、学科を超えて協力し合い、各自がリーダーシップを発揮。互いの強みを活かした運営体制を確立しました。

●生活機構研究科環境デザイン研究専攻2年生　一色 珠緒
建築士法改正後本学で初めて在学中に、建築業界における最高資格の一つである一級建築士取得を達成しました。

●食健康科学部管理栄養学科4年生　森田 理乃
（社）日本クリケット協会の女子日本代表強化選手団に選出され、韓国で開催された「女子東アジアカップ」に出場、日本の準優勝に貢献しました。

●学友会執行部
本学の学友会執行部として、自ら積極的に考え行動することで新しい学友会組織全体の安定化に強く貢献しました。また、積極的にイベントを企画し、キッチンカー誘致や管理にも尽力しました。

●CAFE3学生スタッフ
CAFE3の学生スタッフとして、企画部・広報部・マーケティング部の連携体制を機能させ積極的に活動し、CAFE3の売り上げに大きく貢献し、キャンパスのくつろぎと交流のサードプレイスとしての環境づくりに寄与しました。

TEACHERS OF THE YEAR 個人1名、1団体　対象教員7名

●人間社会学部福祉社会学科
李 恩心・竹中 啓介・坂入 竜治・渕田 隆史・熊谷 大輔・増田 裕子

●グローバルビジネス学部ビジネスデザイン学科　宮脇 啓透

2025年度 4月　新しい国際学部

2024年度まで	2025年度から
英語コミュニケーション学科（入学定員 179名）	名称変更 国際教養学科（入学定員 79名）
国際学科（入学定員 120名）	新設 国際日本学科（入学定員 100名）
	国際学科（入学定員 120名）

多様化する学生のニーズに応えるため、
国際学部が「国際教養学科」「国際日本学科」の誕生とともに、さらに次のステージに前進。

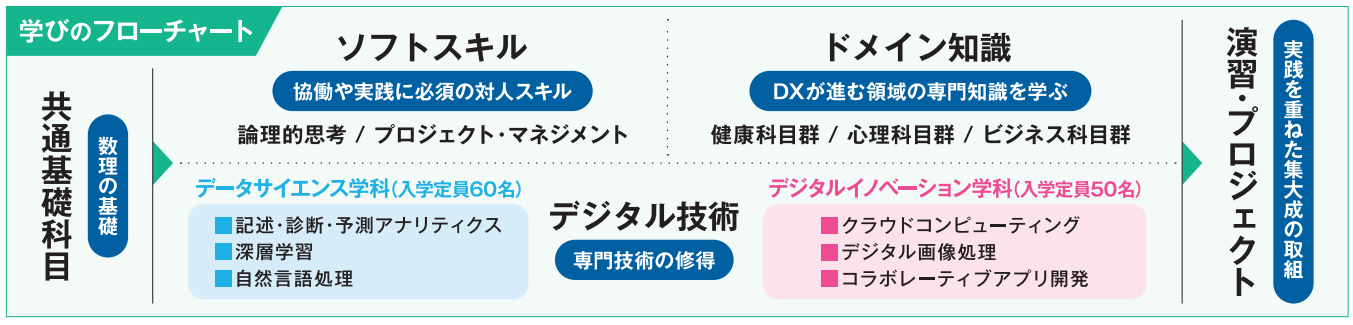
カリキュラムの特色

国際教養学科	●国内留学（TUJ）＋昭和ボストンで最長2年の留学が可能 ●少人数の英語習得授業　●米国式リベラルアーツ教育
国際日本学科	●昭和ボストン留学（2年次1学期） ●国内・海外インターンシップ ●日本文化の再発見、再認識 日本の魅力をポップカルチャー、ものづくり、観光資源、歴史、文化などから再発見します。
国際学科	●選択言語に応じた留学先　●多文化共生に向けた教育と国際社会への貢献 ●英語＋1言語の複言語教育

2026年度 4月　総合情報学部を新設予定（構想中*）

＊学部学科名称及び本計画は予定であり、内容が変更となる場合があります。

データとデジタル技術の活用において
先端を走る企業との議論に基づき、
文理融合カリキュラムを編成。
《デジタル技術》《ソフトスキル》
《ドメイン知識》の3分野の専門性を
兼ね揃えた人材を育成します。



学報委員募集中です！

昭和女子大学の歴史ある大学新聞「昭和学報」。ウェブサイトでも通年で記事を掲載しています。興味のあるテーマを企画、取材し、記事を執筆することが主な活動です。書くことが好きな人、初めての人でも大歓迎です。

学報委員会
募集フォーム

昭和女子大学の今を
各種メディアで発信中！

swu.ac.jp
@insta_swu
@ShowaJoshi
@swu_official（公式）
@swu_tv（昭和女子大TV）
@TV-ih8zz（昭和女子大TV）

掲載されている内容、数値は2025年2月時点のものです。